

UNIVASと大学・学連との協力事項(案)

資料2

UNIVASが今後各種サービスを迅速に検討・構築する上で、短期的(※)には、以下の様々な事項について大学と学連との協力が必要。(※)創設後3年程度を想定

	事項	大学	学連
学業充実	入学前教育の実施及びモデルプランの提供	●	
	大会日程を調整するための学事日程の提出	●	●
	学業基準の設定に関する実証への協力、運用規定策定への協力	●	
	日本版NCAAへのGPA情報提供及びアスリート賞候補の情報提供	●	●
	学生アスリートのキャリア支援担当部署の明確化	●	
	UNIVASと学生アスリート保護者へのキャリア活動支援の報告	●	
安全安心・ 医科学	UNIVASへの重篤事故の把握	●	●
	学生選手の保険加入状況の確認	●	●
	安全安心に関するガイドラインの遵守	●	●
	UNIVASに寄せられた相談事案への対応(事実確認、問題解決、経過報告)	●	●
	ガバナンスコードの遵守	●	●
	指導者研修会への参加及び学内の取組の共有(学業充実分野含む)	●	●
	大学管轄の部に所属する、指導者の契約状態や名簿の把握、整理	●	
事業・ マーケティング	大学内に研究支援センターを設置	●	
	UNIVASとの間で情報等のやりとりをする窓口(担当者)の設定	●	
	学内の体制整備を目指した取組(スポーツ部局の設置、専任職員の配置等)	●	

平成30年
11月19日

第3回大学スポーツ協会設立準備委員会

—事務局から上記の各事項について、内容、調整・実施方法、体制等についての「たたき台」を提示。
委員会において議論、承認。

各大学・学連において加盟の要否検討

平成30年1月頃

大学スポーツ協会加盟申し込み開始

平成31年2月頃

大学スポーツ協会創設(目標)

協会の各委員会・総会(加盟大学・学連がメンバー)において、「たたき台」を引き続き議論、検討。
各大学・学連において導入すべき標準・ルールやUNIVASとの業務協力の具体的内容を確定し、各大学・学連で順次導入・実行